

指導の手引き 6 学校①②

classroom	classにアクセント。	教室
英語らしい音を出すコツ	lの音は上の歯の裏に舌先を押し当てる。この a は「エ」の口の形で「ア」。	
文法的な注意事項	classroom で1語。2語に綴らない。	
文化的な情報、応用表現など	class は一緒に授業を受けるグループの児童・生徒たちのことだけでなく、授業そのものも指す。Let's read this book at next class. 「次の授業でこの本を読みましょう」。イギリス、オーストラリア、ニュージーランドでは「クラス」と発音する。	
computer room	pu にアクセント。	パソコン室、コンピュータ室
英語らしい音を出すコツ	「コ」の口の形のまま「カ」と言うような音。-room は l (エル) の発音にならないよう、舌の先が歯に触れないことを確かめる。	
cooking room	cookにアクセント。	調理室
英語らしい音を出すコツ	oo の音は、唇をしっかりと突き出して。room の rは、舌が歯に触れないように。	
文化的な情報、応用表現など	学校によっては家庭科室と呼ぶ教室でも、そこに調理実習の設備があるなら、cooking room と呼んでよい。また、給食の調理室を指すこともできる。	
entrance	en にアクセント。	玄関、昇降口
英語らしい音を出すコツ	t と rの間をつなげて、「チュラ」に近い音でもよい。	
文法的な注意事項	動詞の enter から来ている語。「入り口」。	
文化的な情報、応用表現など	職員用もentranceだが、teachers' entrance、児童の昇降口は students' entrance と呼んでもよい。	
gym		体育館
英語らしい音を出すコツ	mの音は、両唇を閉じてしっかりと出す。	
文法的な注意事項	gymnasium 「ジムネイズィアム」を略した語。	
library	最初の i にアクセント。	図書館 (図書室)
英語らしい音を出すコツ	最初の l と真ん中の r を区別して発音する。	
文化的な情報、応用表現など	学校の図書室も、町の図書館も library である。学校のことを区別するなら school library と呼んでよい。	
playground	play-にアクセント。	校庭
英語らしい音を出すコツ	play の l は舌先が上の歯の裏につくように。しかし ground の rは、舌先が歯に触れないように。	
文法的な注意事項	1語につづる。	
文化的な情報、応用表現など	文字通り「遊び場」なので、幼稚園や小学校ではこれでよいが、中学校・高校の校庭は school yard と呼ぶ。	
rest room	rest にアクセント。	トイレ
英語らしい音を出すコツ	r は舌が歯に触れないように。	
文法的な注意事項	rest は「休憩、休息」。	
文化的な情報、応用表現など	家庭のトイレは bathroom と呼ぶことが多い。トイレと風呂場が一緒になっている構造が一般的だからである。	
principal's office	prin-にアクセント。	校長室
英語らしい音を出すコツ	r は舌が歯に触れないように。l (エル) は舌先が上の歯の裏につくように。principal の pal はアクセントがない a なので、あまり口を開けずに発音すればよい。officeの o は「ア」の口で「オ」。	
文化的な情報、応用表現など	英語圏の校長室のドアには、Principal とだけ書いてあることが多い。	
school nurse's office	schoolの方が強めのアクセント。	保健室
英語らしい音を出すコツ	nurse の ur は両唇の間を狭めて、「ウー」「アー」「エー」のどれにも聞こえるような、あいまいな発音をする。	
文化的な情報、応用表現など	養護教諭は看護師ではないが、英語圏に養護教諭の制度がない。school nurse という職が最も近いため、ここでは使っている。	